

国家公務員 国税専門官採用試験

—大学卒業程度—

受験案内

◇受験資格◇

- 1991(平成3)年4月2日～2000(平成12)年4月1日生まれの者
- 2000(平成12)年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - (1) 大学(短期大学を除く。以下同じ。)を卒業した者及び2022(令和4)年3月までに大学を卒業する見込みの者
 - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

* 次のいずれかに該当する者は受験できません。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者
 - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 - 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
 - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- (3) 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者(心神耗弱を原因とするもの以外)

◇試験の日程◇

受付期間	申込みは、インターネットにより行ってください。 3月26日(金) 9:00～4月7日(水) [受信有効] ※ インターネット環境(原則パソコン)及びプリンターが必要になります。 ◇受付から第1次試験日までの注意事項◇(4ページ参照)をよく読んでください。
第1次試験日	6月6日(日) 9:00(受付開始) 9:30(試験開始)～17:25(試験終了)
第1次試験合格者発表日	6月29日(火) 9:00
第2次試験日	7月5日(月)～7月16日(金) 第1次試験合格通知書で指定する日時(日時の変更は、原則として認められません。) なお、土・日曜日は実施しない予定です。
最終合格者発表日	8月17日(火) 9:00

◇職務内容◇

国税庁の使命は、わが国の財政基盤を支える唯一の歳入官庁として、納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現することです。

国税専門官は、この使命を果たしていくため、国税局や税務署の第一線において、税務のスペシャリストとして、多くの納税者や経済取引に接しながら、税務調査や滞納処分などを行っています。

そのため、コミュニケーション能力だけでなく、法律、経済、会計等の専門知識を修得する向上心が必要とされるほか、近年の経済取引の国際化やICT化などに伴い、語学やICTの知識を活用する機会も増えてきています。

国税庁の使命を果たすため、このような資質を備えた使命感・正義感あふれる方をお待ちしています。

◇受験上の配慮について◇

1 視覚障害（読字障害）の程度により、拡大文字による試験、解答時間の延長等の措置が講じられる場合があります。

拡大文字による試験又は解答時間の延長による受験を希望する場合は、申込画面の該当項目に希望する措置の内容を入力するとともに、4月7日（水）17時までに必ず第1次試験地に対応する国税局・沖縄国税事務所（8ページ参照）に申し出て、その指示に従い障害の程度を証明する書類を提出してください。

なお、4月7日（水）17時以降にこれらの措置を希望されても認められませんので御注意ください。

2 身体の障害等があるため、着席位置の指定、車椅子の使用等、受験の際に何らかの措置を希望する場合及び補聴器を使用したい場合は、あらかじめ申し出てください（事前の届出及び許可が必要です。）。

申込時にあらかじめその旨を第1次試験地に対応する国税局・沖縄国税事務所（8ページ参照）に必ず申し出るとともに、申込画面の該当項目に希望する措置の内容など（補聴器使用の場合は、補聴器使用の旨及びメーカー名、型番など）を入力してください。

申出の内容や程度を確認の上、対応します。場合によっては、障害の程度を証明する書類を提出していただくことがあります。

なお、内容によっては、試験の実施上、配慮できない場合もあります。

◇採用予定数◇

約1,500名

採用予定数は2月1日現在の見込みであり、今後変動する場合があります。変動があった場合には最新の情報を3月下旬に、別途人事院ホームページ（国家公務員試験採用情報NAV I）に掲載する予定ですので、御確認ください。

◇2020年度の実施結果◇

申込者数	第1次試験合格者数	最終合格者数
14,131 (5,532)	7,189 (2,777)	3,903 (1,539)

（注）（ ）内の数字は、女性を内数で示す。

◇試験種目・試験の方法◇

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点 比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	$\frac{2}{9}$	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 27題 (文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 知識分野 13題 (自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
	専門試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	$\frac{3}{9}$	国税専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験 出題数は70題 必須 2科目16題(民法・商法、会计学(簿記を含む。)) 選択 次の9科目54題(各6題)から4科目24題選択 (憲法・行政法、経済学、財政学、経営学、 政治学・社会学・社会事情、 英語、商業英語、情報数学、情報工学)
	専門試験 (記述式)	1題 1時間20分	$\frac{2}{9}$	国税専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験 次の5科目(各1題)のうち1科目選択 憲法、民法、経済学、会计学、社会学
第2次試験	人物試験	/	$\frac{2}{9}$	人柄、对人的能力などについての個別面接
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、尿、その他一般内科系検査

(注) 1 ○内の数字は出題予定数です。

2 第1次試験合格者は、「基礎能力試験(多肢選択式)」と「専門試験(多肢選択式)」の成績を総合して決定します。「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者決定に当たり、他の試験種目の成績と総合します。

3 第2次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。

4 「配点比率」欄に*が表示されている試験種目は、可否の判定のみを行います。

5 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報NAV Iを御覧ください。

◇試験地◇

第1次試験地					第2次試験地		
札幌市	盛岡市	仙台市	高崎市	さいたま市	札幌市	仙台市	さいたま市
東京都	新潟市	松本市	名古屋市	金沢市	東京都	名古屋市	金沢市
京都市	大阪市	松江市	岡山市	広島市	大阪市	広島市	高松市
高松市	松山市	福岡市	熊本市	鹿児島市	福岡市	熊本市	那覇市
那覇市							

(注) 1 第1次試験地及び第2次試験地については、それぞれ受験に便利な1都市を選んでください。

2 試験場は、原則として上記都市内に設けますが、申込者数等の状況に応じて、上記都市周辺に設ける場合もあります。

3 受験申込完了後における「試験地」の変更は認められません(4ページ参照)。

◇受付から第1次試験日までの注意事項◇ ◇インターネット申込みの流れ◇(6ページ)と併せて御確認ください。

1 受付期間(インターネット申込み)

3月26日(金) 9:00~4月7日(水) [受信有効]

4月7日(水)までに申込データを受信完了したものに限り受け付けます。余裕を持って申込手を完了してください。

お使いのパソコンで申込手が可能かをチェックできます。インターネット申込専用アドレスへアクセスして、早めに確認してください。

2 申込方法

インターネット申込専用アドレス [http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html]

インターネット申込専用アドレスへアクセスして、説明に従って入力してください。

申込手続は、「事前登録」と「申込み」の2段階になっています(2021年度に行われる他の国家公務員採用試験において既に事前登録を行っており、ユーザーIDを持っている場合、事前登録は不要です。)

「事前登録」だけでは申込完了にはなりません。「事前登録完了通知メール」及び「申込受付完了通知メール」が送信されますので必ず保存してください。

「事前登録」の際に登録したメールアドレスは、「受験票発行通知メール」を受信し、受験票を作成するまで変更しないでください。

なお、ユーザーID及びパスワードの照会には応じられませんので、忘れないように必ず控えておいてください。ユーザーID及びパスワードは、個人の試験結果(成績)の確認の際にも必要になります。

ユーザーID	
パスワード	

パーソナルレコード(「国家公務員採用試験インターネット申込み」ページの下方)から、左記のユーザーID及びパスワードでログインすることで申込内容の確認ができます。

予期せぬ機器停止や通信障害などが起きた場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

3 申込みに関する注意事項

- (1) 申し込むことができる「試験地」は一つに限ります。また、申込完了後における「試験地」の変更は認められません。ただし、災害又は転居によりやむを得ないと認められる場合に限り、試験の実施に支障がない範囲(転居の場合は、4月12日(月)17時までに申し出た場合に限る。)で変更が認められます。
- (2) 申込みは1回に限ります。異なるユーザーIDで同じ試験について複数の申込みをした場合、最後の申込み以外は無効とします。
- (3) 「試験地」以外の申込内容のうち、「氏名(フリガナ含む)」、「生年月日」、「性別」、「電話番号」、「住所・合格通知書希望送付先」の訂正は、第1次試験の際に受け付けます。申込内容等の訂正を目的として再度申し込むことは絶対にしないでください。
- (4) 2000(平成12)年4月2日以降に生まれた者は、受験資格となる学歴について、「学校名」、「学部・学科名」、「課程名」等を正式な名称で省略せず入力してください。第2次試験の際、卒業(見込)証明書の提出を求めますので、正確に入力してください。
- (5) 入力の際の誤りや漏れがある場合には、補正を行うため適宜連絡をします。申込みをした日から4月13日(火)の間(土・日曜日は除く。)は必ず連絡が取れるようにしてください。補正できなかった場合には、受験申込みの受理ができないことがあります。

また、第1次試験地に対応する国税局・沖縄国税事務所(8ページ参照)と連絡が取れるように、電話番号を携帯電話等に登録しておいてください。

4 受験票の作成方法

受験票のダウンロード期間は5月21日（金）13：00～6月3日（木）17：00です（6月3日（木）17時以降はダウンロードできません。）。5月21日（金）13：00～17：00に「受験票発行通知メール」を送信する予定です。

期間中に、パーソナルレコードにユーザーID及びパスワードを入力してログインし、受験票をダウンロードしてください。ダウンロード後、A4サイズのコピー用紙（普通紙）で印刷（カラー、白黒どちらでも可）し、受験票記載の説明に従って受験票を作成してください。受験票がダウンロードできない場合は、インターネット申込みQ&A（「国家公務員採用試験インターネット申込み」ページの下方）を参照してください。

期間中に受験票をダウンロードできなかった場合は、パーソナルレコードにログインして、必要な情報を確認してください。

また、受験票の内容に関する照会は、第1次試験地に対応する国税局・沖縄国税事務所（8ページ参照）に6月4日（金）17時までにお問い合わせください。

5 第1次試験に関する注意事項

- (1) 受験票には、本人であることが明瞭に確認できる**写真**（3か月以内に撮影した、脱帽・上半身・正面向きの縦4cm横3cmのもの）を貼り、**第1次試験当日に必ず持参**してください。
- (2) 第1次試験の試験開始時刻（9時30分）に遅れた場合は、受験は認められません。受験票記載の試験場において必ず試験開始時刻までに受付（9時00分開始）を済ませ、指定された席に着席してください。
また、試験場によっては、試験場入口と受付場所が相当離れているところもありますので、時間に余裕を持って行動してください。
- (3) 試験実施中にスマートフォンなどの携帯電話、タブレット端末、スマートウォッチ、電子辞書等の電子機器類を操作した場合、操作しなくても身に付けていた場合、机の上や机の中に置いていた場合は、不正行為となりますので注意してください。

◇個人情報の管理について◇

入力された個人情報については、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に従い、人事院及び国税庁において適正に管理します。

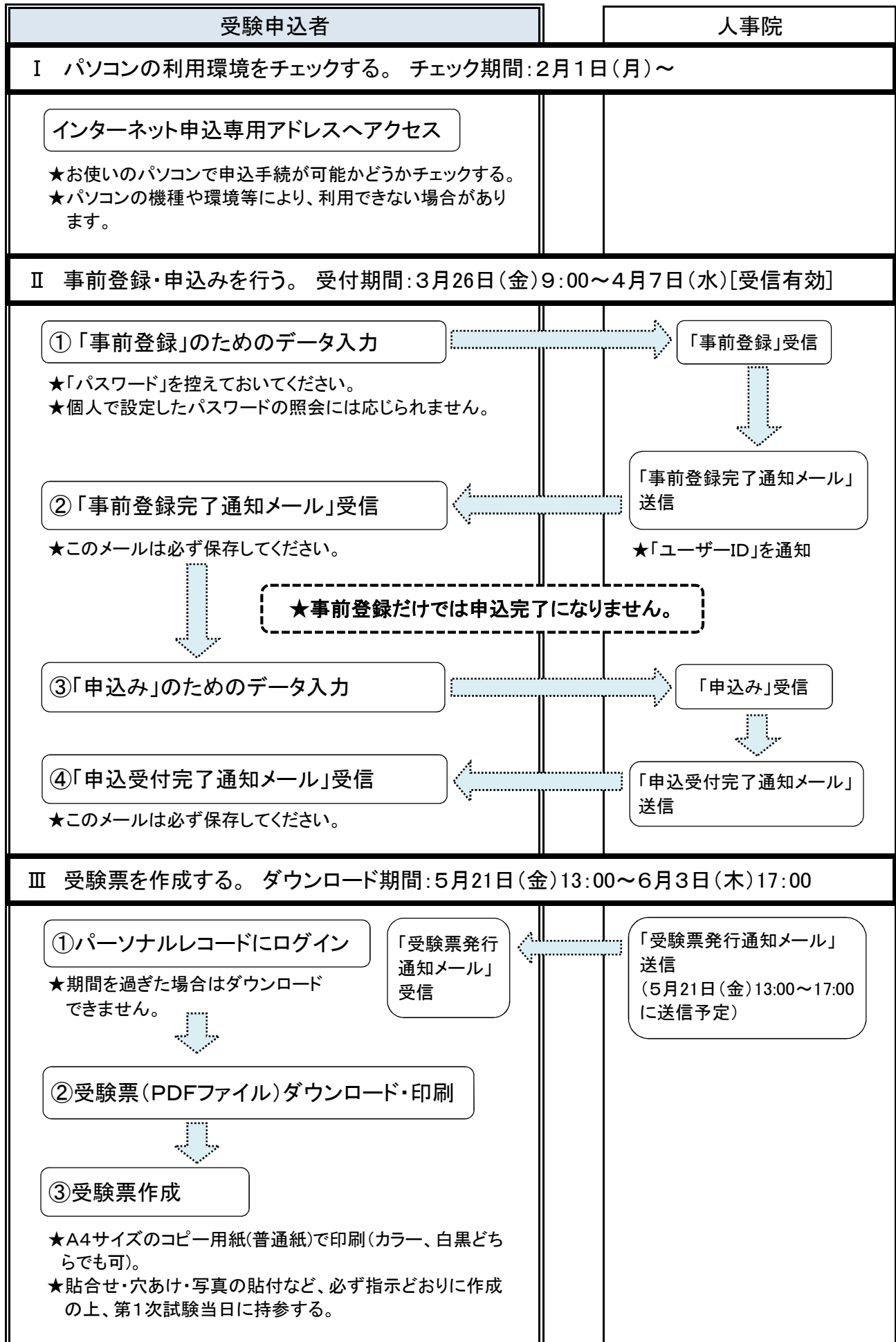
なお、学歴等の事項は、試験結果の分析、今後の効率的な募集活動等に資するために用いるものであり、試験の結果に影響を与えるものではありません。

◇新型コロナウイルス感染症などへの対応について◇

人事院ホームページ「採用試験の重要情報」又は「国家公務員試験採用情報NAV I」の各試験のお知らせ欄に掲載しますので、必ず御確認ください（情報は随時更新されます。）。

MEMO

◇インターネット申込みの流れ◇



◇多肢選択式試験の正答番号の公表について◇

第1次試験の「基礎能力試験（多肢選択式）」及び「専門試験（多肢選択式）」の正答番号については、人事院ホームページ（国家公務員試験採用情報NAV I）の「試験情報」に、6月7日（月）11時から6月14日（月）17時まで掲載します。

掲載直後はアクセスが集中し、つながりにくくなることがあるので、時間をおいてアクセスしてください。

なお、電話による正答番号の照会に対する回答は行っておりませんが、インターネットで見ることができないなど「正答番号の公表」に関する問合せ先は、人事院人材局試験専門官室（03-3581-5311 内線2391）です。

◇合格者の発表◇

合格者の受験番号は、以下のインターネット合格者発表専用アドレスで確認することができます。

掲載直後はアクセスが集中し、つながりにくくなることがあるので、時間をおいてアクセスしてください。

インターネットによる合格者発表に関する問合せ先は、人事院人材局試験課（03-3581-5311 内線2332）です。

[<http://www.jinji-shiken.go.jp/goukaku.html>]

第1次試験合格者発表 ……6月29日（火）9時

最終合格者発表 ……8月17日（火）9時

合格者発表に関する照会は、受験した試験地に対応する国税局・沖縄国税事務所（8ページ参照）にお問い合わせください。

合格者には合格通知書を郵送します。「第1次試験合格通知書」には第2次試験の日時・試験場を指定していますので、第1次試験合格通知書が6月30日（水）までに到着しない場合は、7月1日（木）に受験した試験地に対応する国税局・沖縄国税事務所（8ページ参照）にお問い合わせください。

なお、第1次試験合格通知書で指定する第2次試験の日時の変更は、原則として認められません。

人事院及び国税庁では、有料で試験の合否の連絡を請け負うことは一切行っていません。

◇個人の試験結果（成績）について◇

個人の試験結果（成績）については、国家公務員試験採用情報NAV Iで確認できます。

掲載期間中にパーソナルレコードにログインし、試験結果をダウンロードしてください。掲載期間は、国家公務員試験採用情報NAV Iで御確認ください。

◇採用・給与・勤務時間等◇

1 採用方法及び採用時期

最終合格者は、採用候補者名簿（3年間有効）に得点順に記載されます。この名簿に記載された者の中から全国の国税局及び沖縄国税事務所に採用される者を決定し、採用者は各管内の税務署で勤務することになります（最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。）。採用は2022（令和4）年4月1日以降になります。

採用後は約3か月間、税法・簿記などの基礎的な研修を受け、税務署に配属されます。その後、外部事務に関連した実務的な事項を習得する研修を受講します。

さらに実務経験を積んだ後、高度な専門的知識や技能を習得するための専科研修を経て、国税調査官・国税徴収官などに任用されます。

なお、採用された国税局又は沖縄国税事務所管内において、随時転勤があります。

2 給与

採用当初の額は、250,560円です。

(注) 1 この額は、一般職の職員の給与に関する法律の規定によるもので、税務職俸給表1級22号俸が適用され、東京都特別区内に勤務する場合における2021（令和3）年4月1日の給与の例です。

地域手当の支給されない地域へ採用された場合には、208,800円です。

2 上記のほか、次のような諸手当が支給されます。

扶養手当…扶養親族のある者に支給。子月額10,000円等

住居手当…借家（賃貸のアパート等）に住んでいる者等に、月額最高28,000円

通勤手当…交通機関を利用している者等に、定期券相当額（1箇月当たり最高55,000円）等

期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）…1年間に俸給等の約4.45月分

3 勤務時間・休暇

勤務時間は、原則として、1日7時間45分で、土・日曜日及び祝日等の休日は休みです。

休暇には、年次休暇（年20日（4月1日採用の場合、採用の年は15日）。残日数は20日を限度として翌年に繰越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）及び介護休暇等があります。

また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の両立）支援制度として、育児休業制度等があります。

◇問合せ先◇

問合せの内容により、人事院人材局試験課、下表の各国税局・沖縄国税事務所又は人事院各地方事務局・沖縄事務所に御連絡ください（9：00～17：00（土・日曜日及び祝日等の休日は除く。））。

1 インターネット申込みに関する問合せ

人事院人材局試験課 電話 (03) 3581-5311（内線2332） FAX (03) 3581-2795

なお、インターネット申込用のホームページ（4ページ参照）には、Q&Aがありますので、そちらも参照してください。

2 その他試験に関する問合せ

- (1) 転居による試験地の変更
- (2) 視覚障害や身体の障害等による特別措置の申出
- (3) 受験票の内容
- (4) 合格者発表
- (5) 合格通知書の未着

第1次試験地	問合せ先	電話番号
札幌市	札幌国税局	(011)231-5011
盛岡市 仙台市	仙台国税局	(022)263-1111
高崎市 さいたま市 新潟市 松本市	関東信越国税局	(048)600-3111
東京都	東京国税局	(03)3542-2111
名古屋市	名古屋国税局	(052)951-3511
金沢市	金沢国税局	(076)231-2131

第1次試験地	問合せ先	電話番号
京都市 大阪市	大阪国税局	(06)6941-5331
松江市 岡山市 広島市	広島国税局	(082)221-9211
高松市 松山市	高松国税局	(087)831-3111
福岡市	福岡国税局	(092)411-0031
熊本市 鹿児島市	熊本国税局	(096)354-6171
那覇市	沖縄国税事務所	(098)867-3601

国税庁ホームページ [https://www.nta.go.jp/about/recruitment/kokusen/02.htm] で、国税専門官の職種紹介や先輩からのメッセージなどの情報を掲載しています。

3 合格者発表に関する問合せ

問合せ先	電話番号
人事院北海道事務局	(011)241-1248
人事院東北事務局	(022)221-2022
人事院関東事務局	(048)740-2006 ～8
人事院中部事務局	(052)961-6838
人事院近畿事務局	(06)4796-2191

問合せ先	電話番号
人事院中国事務局	(082)228-1183
人事院四国事務局	(087)880-7442
人事院九州事務局	(092)431-7733
人事院沖縄事務所	(098)834-8400